

2024年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】			所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂市勤労青少年ホーム創造の家			
所在地	須坂市臥竜六丁目25番1号			
施設設置目的	勤労青少年及び市民の学習、交流、余暇活動の場を提供することにより市民福祉の増進に資するため			
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 912.34㎡ 軽運動室99㎡、料理実習室50㎡、音楽室45㎡、創造の家事務室17㎡、 スポーツ協会事務室(相談室)28㎡、講習室80㎡、会議室45㎡、 集会室(1)64㎡、集会室(2)42㎡、談話コーナー ※スポーツ振興係事務室(図書室)35㎡は指定管理の対象外			
建設年月	1979年02月	指定管理 開始年月	2015年4月	

【指定管理概要】

指定管理者名	一般社団法人須坂市スポーツ協会			
指定期間	2025年4月1日～2030年3月31日まで(5年間)			
業務内容	(1) 施設の管理及び運営に関する業務 (2) 施設等の維持管理に関すること (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 勤労青少年の保護及び福祉の増進を図るため実施する事業に関する業務			
職員体制	常勤:4名 合計:4名			
(専門職、役職等内訳)	事務局長兼創造の家館長、事務局次長(兼任)、書記2名			

1 施設利用状況			実績				
項目	単位	目標値	2022年度	2023年度	2024年度	対前年比	対目標値
利用者数	人	10,329	5,190	6,904	7,901	114.4%	76.5%
		※2019年度実績					
特記事項	・2024年度を通して、施設利用者は前年度対比114.4%となり、増加している。その理由として、2023年に須坂市が実施した軽運動室の施設環境の充実化(鏡の増設、床の張替え、大型エアコン設置など)により使い勝手が改善され、新規利用団体(ダンスなど)が加わったこと、また、健康マージャンなどの取組みにより、施設利用の拡大が図られた等が挙げられる。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市		
科目		予算額	決算額	科目	予算額	決算額
収入	指定管理料	14,273	14,273	収入		
	会館利用料収入	450	700			
	参加料収入	429	460			
	自動販売機収入	33	41			
	雑収入	25	26			
	教材費収入	108	104			
	収入計	15,318	15,604		収入計	
支出	人件費	7,307	7,128	支出	指定管理料	14,273
	需用費	3,916	4,258		修繕費	1,200
	役務費	2,586	2,626		備品購入費	1,288
	使用料及び賃借料	278	274		工事請負費	783
	報償費	1,213	1,062			
	旅費	18	10		その他	400
	支出計	15,318	15,358		支出計	17,944
管理事業損益 (a)		0	246	管理事業損益		-17,944
						-17,662

損益 (a)+(b) 管理事業損益+自主事業損益	246
-----------------------------	-----

特記事項	収入のうち会館利用料収入が大幅増となった。
------	-----------------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	◎ ヘルシーライフ 前期6教室(ゴルフ、マレット、太極拳、ねこ背改善ヨガ、イスに座って健康体操、スロートレーニングで健康に)を5月8日から10月12日まで54回開催した。 受講生 76人 男性:28人 女性:48人 参加延べ人数: 549人 後期4教室(ねこ背改善ヨガ、ヘルシーエクササイズ、免疫力アップエクササイズ、スローエクササイズ&ストレッチ)を9月28日から2月5日まで30回開催した。 受講生 55人 男性:5人 女性:50人 参加延べ人数: 398人 冬期1教室(初心者健康マージャン教室)を1月30日から2月27日まで5回開催した。 受講生 21人 男性:6人 女性:15人 参加延べ人数: 98人 本年度は事業名を「市民健康教室」から「ヘルシーライフ」に名称を変更し、より親しみやすいネーミングとした。名称変更による募集の反応もよく、出席率がおおよそ9割で、体を動かしたいとの参加者の意識、健康への関心の高さがうかがわれた。 どの教室も参加者が積極的かつ楽しそうに取り組んでいる姿が見受けられた。教室終了後、満足された様子がうかがえ、来年度も引き続き同じ講座を企画してほしいとの声も多数あった。 それぞれの教室の内容か、講師陣の熱心な指導によるところも大きく、前回までの参加者の意見をくみ取った講義内容の構築をしていただいた。 来年度も、引き続きニーズに合った教室を企画していきたい。 試験的に行った講座もあり、参加率に差があった。次回への参考にしていきたい。 ◎ 第10回創造の家秋のフェスティバル 10月26日(土)、第10回創造の家秋のフェスティバルを創造の家施設、青少年体育センター、弓道場において開催した。 スポーツ協会専門委員とボランティアスタッフなどで構成した実行委員会を中心に、教室・体験・発表・イベントを実施し、来館者にも楽しんでもらい盛大に開催できた。約470人の来場があった。 特に体育センターは来場者も多く、創造の家施設内のバルーンアートも盛況だった。 スタンプラリーではコンプリートの景品が足りなくなってしまうほどたくさんの参加があった。 また、新規2店舗を含む計6店舗の出店があり、来場者も楽しみにしている様子が伺われた。
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
創造の家秋のフェスティバル	195	195	収入:参加料等、支出:消耗品費等
ヘルシーライフ	570	570	収入:参加料等、支出:消耗品費等
合計	765	765	自主事業損益(b)
			0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等) ○ 時期・・・随時 ○ 方法・・・施設利用者から直接またはアンケートBOXによる聞き取り調査 ○ 年1回の利用者会議(各施設利用団体)における意見聴取 ○ 年2回の管理施設専門委員会における意見聴取 (2) 調査等の結果 ○ 施設利用手続き、職員対応に関する苦情はなかった。施設利用についての提案をいただいた。
②利用者からの声	(1)良好とする評価 ○ トイレのスリッパ(靴のままはける)をすぐ購入していただきありがたかった。 ○ 講習室の大きな鏡が増えていたのはありがたかったです。 ○ 常に整備の行き届いた会場をありがたく使用させていただいており、感謝申し上げます。 ○ 安い利用料金。 (2) 苦情・改善の要望 ① 外灯(通路部分)の早めの点灯をお願いしたい。 ② モップの衛生管理(ほこりついてる等)宜しく願います。 ③ 音楽室、会議室のドアは防音タイプがよいと思います。※楽器の音が大きいので他の利用者さんへ影響ないか気になるため。 ④ 予約状況がWebで確認できるとうれしいです。
③対応措置	① 創造の家敷地通路の道中街灯の時間調節を随時行っている。 ② 定期的に交換しているが、気を付けながら管理。 ③ 今後の課題である。 ④ 今後の課題である。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	◎	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	◎	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	3
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	◎	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

評価

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
 B (適正) 合計14点
 B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
 ○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
 △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
 × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。
 市の指導を受けても改善が図られない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

須坂市スポーツ協会が創造の家指定管理業務を受託して、2025年3月末で10年が経過した。この間の施設利用者数を概観すると、第一期目の5年間は、2015年度9,344人、2016年度10,121人、2017年度9,763人、2018年度10,423人、2019年度10,329人と、順調に推移して来た。2018年度の施設利用者数は、市が施設を直営管理していた2014年度の6,414人と比べ、1.63倍となっていた。

一方、第二期の4年間(2019～2022)は、コロナ禍の影響を大きく受けたが、2024年度の利用者数は1ページ記載のとおり7,901人と2023年度対比114.4%となったが、コロナ禍前の2019年度の7割の数字となっている。

市による施設改良工事(軽運動室の床張り替え(令和3年度)、鏡増設(令和4年度)、大型エアコン設置(令和5年度)など)を伴う使い勝手の向上と、利用者の立場に立った丁寧な窓口対応等が、利用者数回復の一助になっているものと

思われる。以前の水準までは回復していないが、少しずつ回復傾向にある。

また、2024年度の利用料に関しては、過去一番の収入額となった。

(2) 今後の課題について

市施設の統廃合が検討されているなか、「創造の家」を施設管理業務と事業推進・運營業務の基本目標に沿って運営をしていくことが大事である。今後も、①施設利用者が常に安全・安心・快適(気持ち良く)に施設を利用できる環境を整備すること。②利用者満足度を向上させ、利用者の拡大・利用率を向上させることの2つの目標を念頭に、施設の適切な管理・運営に努めたい。その為には、職員体制を含め、時間外勤務・休日勤務など、仕事量と品質について市と引き続き協議する必要がある。

また、新しい取り組みを取り入れ、事業がマンネリ化しないようにしていくことも必要である。

(3) 次年度以降の取り組み

① 2024年度から新たにヘルシーライフ・アクティブライフと名称を変更したことにより、より市民に親しみやすく新規の利用者を取り込むなど利用しやすい施設にすること、更に地域社会に貢献することを目指していく。

② 創造の家の利用者への対応(職員が笑顔で接客・対応をする等、安心・安全に施設利用していただく為の施設管理)を更に心がけ、また新規利用者の開拓のため、施設の案内表示や飾りつけをリニューアルしたり、広報等HP、SNSでの誘客、施設利用用途の拡充等を充実させること。

③ 主催事業の勤労青少年対象のニーズにあった新規教室を立ち上げ、より多くの若者に受講者またサークル参加者として利用いただくこと。

④ 自主事業で多くの一般市民の方々に施設を知ってもらい、利用いただく為に、より魅力のあるイベント、教室等を開催すること。

⑤ 勤労青少年一辺倒ではなく、40歳を超える市民の利用のため、また、職員の働き方改革のため、開館時間や休館日等条例改正を引き続き検討してほしい。

⑥ 令和7年度より自主事業となった宿泊合宿事業にも力を入れ、今後の利用者の増加を目指したい。

(4) その他

7 市による総合評価

(1) 今年度の取組みに対する総合評価

軽運動室に壁全面の鏡を整備しエアコンも設置したことで、利用者にとって魅力が向上したため稼働率が上がり、利用者数・使用料収入とも増加した。

日常的な清掃の他、週に1度専門的な清掃業務を委託している。カーペットを新調するなど清潔で快適な環境を整えている。

担当課に対し連絡が密に行われ、施設修繕は適切に実施された。

自主事業について地元の南原町区に積極的に広報するなど、地域に密着した運営を行っている。